

2026年 1 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年12月15日

上 場 会 社 名 株式会社ミサワ 上場取引所 東
コ ー ド 番 号 3169 URL <https://www.misawa-corp.co.jp/>
代 表 者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 三澤 太
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 鈴木 裕之 （TEL） 03-5793-5500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年 1 月期第 3 四半期の業績（2025年 2 月 1 日～2025年10月31日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年 1 月期第 3 四半期	8,511	△9.0	△130	—	△113	—	△98	—
2025年 1 月期第 3 四半期	9,355	4.6	87	—	89	—	27	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2026年 1 月期第 3 四半期	△13.92		—					
2025年 1 月期第 3 四半期	3.85		—					

（注）潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年 1 月期第 3 四半期	5,095	3,031	59.5
2025年 1 月期	5,082	3,171	62.4

（参考）自己資本 2026年 1 月期第 3 四半期 3,031百万円 2025年 1 月期 3,171百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年 1 月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2026年 1 月期	—	0.00	—		
2026年 1 月期（予想）				8.00	8.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年 1 月期の業績予想（2025年 2 月 1 日～2026年 1 月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,113	△4.1	22	△93.1	38	△88.2	25	△86.7	3.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年1月期3Q	7,112,400株	2025年1月期	7,112,400株
2026年1月期3Q	29,536株	2025年1月期	50,635株
2026年1月期3Q	7,071,663株	2025年1月期3Q	7,068,993株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期累計期間の経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(収益認識関係)	6

1. 当四半期累計期間の経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、国際情勢の不安定化や米国の通商政策の動向、さらには物価上昇への懸念などもあり、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

インテリア・家具業界におきましては、倉庫・店舗・オフィス等の賃料コストや、配送コストの上昇及び人材不足による人件費の増加等により、依然として厳しい競争環境が続いております。

こうした環境の中で当社は、店舗戦略としましては、unico有楽町店（東京都千代田区）の新規出店をしました。利便性が魅力の「ルミネ有楽町」への出店であり、都内23区の商業施設に出店しているunico店舗の中で、直近でリニューアルしたunico二子玉川店に次いで面積が広い店舗となっております。法人事業としましては、法人事業ページ「unico for Bussiness」をリニューアルし、サービスごとのご案内や事例紹介を充実させ、よりお客様にご利用イメージをお伝えでき、お問い合わせを受け易くなるようにつとめました。また、人材育成強化策として「ニーズを汲み取るスキルとトータル提案力の向上」をテーマに従来の予選通過者のみの参加から、全国の出場スタッフ全員が決勝戦を観戦する形式にて、「接客ロールプレイングコンテスト」を実施しました。

以上の販売戦略を行いました。厳しい市場環境により、売上高8,511,311千円（前年同期比9.0%減）、営業損失130,144千円（前年同期は営業利益87,927千円）、経常損失113,330千円（前年同期は経常利益89,593千円）、四半期純損失98,452千円（前年同期は四半期純利益27,236千円）となりました。

なお、第1四半期会計期間より、「unico事業」の単一セグメントに変更したため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産の残高は、前事業年度末に比較して13,285千円増加し、5,095,561千円となりました。その主な要因については、下記のとおりになります。

流動資産の残高は、前事業年度末に比較して320,625千円減少し、3,305,135千円となりました。主な要因は、売掛金の増加88,746千円、現金及び預金の減少304,712千円、商品の減少60,197千円等があったことによるものであります。

固定資産の残高は、前事業年度末に比較して333,911千円増加し、1,790,426千円となりました。主な要因は、無形固定資産の増加237,631千円、繰延税金資産の増加58,599千円、有形固定資産の増加49,962千円等があったことによるものであります。

負債の残高は、前事業年度末に比較して154,126千円増加し、2,064,520千円となりました。主な要因は、長期借入金（1年以内に返済予定のもの含む）の増加266,247千円、賞与引当金の増加172,152千円、契約負債の増加145,561千円、買掛金の減少184,343千円、未払法人税等の減少140,641千円等があったことによるものであります。

純資産の残高は、前事業年度末に比較して140,841千円減少し、3,031,040千円となりました。主な要因は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少98,452千円、剰余金の配当による利益剰余金の減少56,494千円等があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年1月期の業績予想につきましては、2025年9月12日付「2026年1月期 第2四半期決算短信」において公表した数値から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年1月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,103,656	798,944
売掛金	545,127	633,874
商品	1,801,688	1,741,490
原材料及び貯蔵品	4,908	6,916
未収還付法人税等	—	10,232
その他	170,379	113,676
流動資産合計	3,625,761	3,305,135
固定資産		
有形固定資産	417,674	467,636
無形固定資産	214,932	452,563
投資その他の資産		
敷金及び保証金	494,273	475,080
繰延税金資産	263,773	322,373
その他	65,859	72,770
投資その他の資産合計	823,907	870,225
固定資産合計	1,456,514	1,790,426
資産合計	5,082,275	5,095,561
負債の部		
流動負債		
買掛金	361,243	176,900
1年内返済予定の長期借入金	24,996	82,937
未払法人税等	140,641	—
賞与引当金	59,526	231,678
契約負債	661,156	806,718
その他	568,124	459,083
流動負債合計	1,815,687	1,757,317
固定負債		
長期借入金	29,178	237,484
退職給付引当金	47,284	51,094
資産除去債務	18,243	18,624
固定負債合計	94,706	307,203
負債合計	1,910,394	2,064,520
純資産の部		
株主資本		
資本金	380,485	380,485
資本剰余金	360,485	360,485
利益剰余金	2,462,712	2,307,765
自己株式	△31,800	△17,695
株主資本合計	3,171,881	3,031,040
純資産合計	3,171,881	3,031,040
負債純資産合計	5,082,275	5,095,561

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	9,355,282	8,511,311
売上原価	4,688,914	4,194,866
売上総利益	4,666,368	4,316,444
販売費及び一般管理費	4,578,441	4,446,589
営業利益又は営業損失(△)	87,927	△130,144
営業外収益		
受取利息	118	1,396
為替差益	—	6,350
運送事故受取保険金	3,671	7,884
その他	1,819	3,717
営業外収益合計	5,609	19,348
営業外費用		
支払利息	314	1,130
為替差損	1,968	—
その他	1,660	1,404
営業外費用合計	3,943	2,534
経常利益又は経常損失(△)	89,593	△113,330
特別損失		
固定資産除却損	29,409	—
特別損失合計	29,409	—
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	60,183	△113,330
法人税、住民税及び事業税	77,991	43,721
法人税等調整額	△45,043	△58,599
法人税等合計	32,947	△14,877
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,236	△98,452

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はございません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はございません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)

「当第3四半期累計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

当第3四半期累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)

当社は「unico事業」の単一のセグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社は、従来「unico事業」と「food事業」の2区分としておりましたが、第1四半期会計期間から「unico事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更は、「food事業」を前事業年度に撤退したことによるものであります。

この変更により、前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間におけるセグメント情報の記載を省略しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年2月1日 至 2024年10月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
減価償却費	99,516千円	89,847千円

(収益認識関係)

当社は、「unico事業」の単一セグメントであり、セグメントごとの記載を省略しております。顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年10月31日)
売上高	
店舗	6,934,412
E C	1,576,899
顧客との契約から生じる収益	8,511,311
その他の収益	—
外部顧客への売上高	8,511,311